

市政に関する

一般質問

要旨

第1回定例会では、16名の議員が質問を行いました。質問は、インターネット上で録画をご覧いただけます。

YouTube 多摩市議会  で検索してください。

発言の全文を記載した会議録は6月上旬以降、市内の各図書館や多摩市の公式ホームページでご覧いただけます。



各議員の動画はこちら



多摩市議会会議録検索システム



「乞田川の桜並木」
撮影者：アミノさん(市内在勤)
撮影場所：乞田川(永山駅付近)



岩崎みなこ (生活者ネットワーク)

市長施政方針について

- 問 今回の高市首相の冒頭解散による衆議院議員選挙について、自治体への影響はどうだったのか伺う。
- 答 選挙管理委員会を中心に基礎自治体に負荷をかけた。
- 問 市が啓発する看板等について、被害側に注意喚起する「痴漢注意」や「壁打禁止」など子どもの人権に配慮した言葉として、ふさわしいのか見直しが必要ではないか。
- 答 重要な指摘であると受け止める。
- 問 移動支援事業が通学に利用可能だが、付き添いへの費用負担は必要。先生の負担を減らし、誰もが地域の学校に通えるため、学校作業療法士の導入が必要ではないか。
- 答 学校作業療法士の導入可能性について研究を進める。
- 問 多摩中央公園西側のグリーンライブセンターは、次年度、環境の拠点の二年目だ。若いボランティアの方として中学生の部活動も考えてはどうか。その際、近年の物価高騰の中、交通費の支給も必要ではないか。
- 答 様々なボランティアの力は欠かせない。すぐに、交通費支給とは考えにくい。いろいろな声を聞いていきたい。



中島律子 (あすたま・女性の力)

- 1.不登校児の訪問歯科診療について
- 2.障がいのある方の住まいについて
- 3.ベビーシッター支援事業について

- 問 不登校により長期間学校での歯科検診を受けられていない児童生徒がいると考えられる。歯の健康は非常に重要であるため、そのような児童生徒へ訪問歯科診療という選択肢があることを周知したらどうか。訪問歯科診療を検討したい場合には、どこに連絡したら良いか伺う。
- 答 多摩市健康推進課で相談に応じる。
- 問 親なき後も住み慣れた多摩市に住み続けたいという障がいのある方の願いがある一方で、住む場所が足りない現状がある。空き家活用も含め住まいを増やすための取組みについて伺う。
- 答 障がいのある方が安心して地域で住み続けられるよう、事業者と連携しながら環境整備に取り組んでいく。
- 問 「東京都ベビーシッター利用支援事業」の導入は子育てをする保護者にとって支援の選択肢を増やす重要な役割を果たすものとする。ぜひ導入を検討していただきたいがいかがか。
- 答 他市の先行事例を参考にしながら調査研究していく。



しらた満 (青空りっけん)

- 1.物価高騰対策における支援の公平性と給付付き税額控除の導入について
- 2.多摩市における子育て世代の支援

- 問 物価高騰は全市民の生活を圧迫し所得制限や世帯属性により大きな格差が生じている。行政の支援は公平に市民に届くべきだが、これまでの交付金活用について問う。
- 答 低所得世帯等に令和4年度から6年度まで約22億9千万円、一定程度自由の利く交付金が約4億9千万円交付され、低所得者層の支援が厚くなっている。
- 問 公平な分配を実現する給付付き税額控除について問う。
- 答 中低所得層支援の手厚い仕組みで国の動向を注視する。
- 問 多摩市の夏休みの学童クラブの給食について問う。
- 答 東京都認証学童クラブ事業への移行に合わせ、令和8年度の夏季休業期間から本格実施予定。
- 問 学校給食センターの建替えについて問う。
- 答 令和14年度1学期迄の約5年間を他の方式を想定し、可能な限り短縮を図り、より良い整備手法で進めていく。
- 問 東京都の令和8年度予算、朝の子どもの居場所づくり小1の壁補助金4億円計上、多摩市の対応について問う。
- 答 市教育委員会として現状の実施は考えていない。

